

廃止措置工事に係る「元請会社」と「福井県内企業」との 情報交換会 参加企業の募集について

日本原子力発電（株）敦賀発電所1号機 令和4年度下期開始予定分

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、原子力発電所の廃止措置工事への県内企業の参入を応援しています。

この度、日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機（以下、「敦賀1号機」という。）の廃止措置工事を対象として、工事全般を請負われる「元請会社」と、廃止措置工事に関心があり今回の工事への参加を希望される「県内企業」との間での情報交換会を開催します。



この会では、工事を担当される「元請会社」のご担当者様から、対象工事の具体的な作業内容や必要な技術要件等について全体的な説明を受けたのち、参加された「県内の企業」のご担当者様と「元請会社」の担当者様が個別に面談し、双方の情報を持ち寄り、意見交換をして頂きます。(※[お願い]をご参照ください。)

次頁の【対象工事の概要】等をご覧のうえ、ご応募ください。多数のご参加をお待ちしております。

(ご注意：この情報交換会への参加と工事受注とは、直接の関係はありません。)

記

〔日時〕 令和4年8月2日(火) 9:00～(開始時刻は予定)

●申込期間：令和4年6月10日(金)～令和4年7月4日(月) 17:00まで

●申込方法：参加申込書に必要事項を記入し、電子メールでお申込み下さい。

〔対象〕 廃止措置工事に関心があり、工事への参加を目指す福井県内の企業

〔場所〕 福井県若狭湾エネルギー研究センター(福井県敦賀市長谷64号52番地1)

〔主催〕 (公財)若狭湾エネルギー研究センター

〔後援〕 福井県、敦賀商工会議所大型プロジェクト関連企業協議会(廃炉ビジネス推進委員会)、嶺南地域振興推進協議会商工部会、わかさ東商工会、小浜商工会議所、おおい町商工会、高浜町商工会、(一社)福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会

〔対象工事〕 ・取水口エリア解体工事
・薬液注入ポンプ他解体工事

…詳細は裏面の〔対象工事の概要〕等をご覧下さい。

〔お願い〕 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者のマスク着用、検温、手指のアルコール消毒、厚労省アプリ「COCOA」の導入へのご協力のほか、元請会社様の映像による時間帯別全体説明、グループ別の個別面談(アクリル板を設置)実施など、ご参加の皆様には各種対策へのご協力をお願いします。

問合せ／申込み先

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部 担当：金松、一宮
TEL：0770-24-7276 FAX：0770-24-7275
E-mail：sangyo@werc.or.jp

【対象工事の概要】

1. 「取水口エリア解体工事」

取水口エリアのうち、海水除塵装置、循環水系装置、クレーン装置の解体・撤去、産業廃棄物処理等の作業を行います。

詳細は添付資料①－1 参照

2. 「薬液注入ポンプ他解体工事」

タービン建屋1階に設置してある、硫酸注入装置及び苛性ソーダ注入装置の解体・撤去作業を行います。

詳細は添付資料①－2 参照

【開催当日日程】

1. 全体説明会（約30分）・・・グループ別に時間帯を区切り、複数回行います。

- (1) 主催者挨拶
- (2) 事業者挨拶と廃止措置計画説明
- (3) 元請会社挨拶と工事概要・技術要件等の説明

2. 個別面談会（約30分）・・・全体説明会後に、ご希望の会社のみ実施します。

【参加申し込み】

①社名、②職名、③氏名、④電話番号、⑤メールアドレス等、必要事項を記載し、お申込み下さい。（メールの標題には「R4敦賀」と記載してお送り下さい。）

【(公財) 若狭湾エネルギー研究センターへのアクセス】



福井県敦賀市長谷64号52番地1

Tel: 0770-24-2300

お車の場合：舞鶴若狭自動車道
敦賀南スマートIC下車 出口すぐ

JRの場合：敦賀駅からタクシーで約20分

<http://www.werc.or.jp/access/>

取水口エリア解体工事の概要

(目的及び概要)

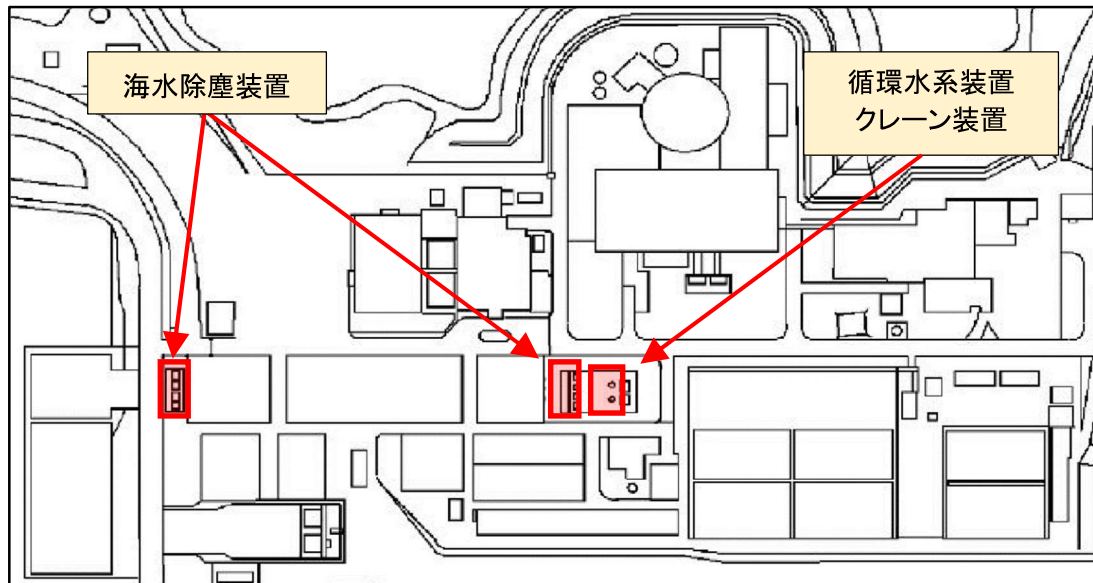
取水口エリアのうち、海水除塵装置、循環水系装置、クレーン装置の解体・撤去、産業廃棄物処理等の作業を行います。

○工事範囲

海水除塵装置、循環水系装置、クレーン装置(非管理区域)



【敦賀発電所1号機 全体図】



○解体範囲:



海水除塵装置



クレーン装置

(工事予定期間)

令和4年10月～令和5年1月

(期待する作業項目と技術ニーズ)

	項目	作業内容	技術的ニーズ※
A1	準備作業	(1)作業資機材の搬入、作業／仮置エリアの設営、区域養生、電源・照明等の仮設機材設置。 (2)足場の設置、揚重設備の設置、維持設備の養生保護。 (3)コンクリート角設置、撤去。(潜水作業含む) (4)官公庁への届け出書類作成助勢。	①②③④⑤⑥ ⑦
A2	解体・撤去作業	(1)解体撤去範囲の識別作業。 (2)保温材除去。 a.アスベスト含有保温材は飛散防止対策を施し回収及び処理。 (3)解体対象機器の解体・撤去。 a.残油及グリースは回収及び処理、火災防護を考慮し解体。 b.ケーブルは検電確認後、切断。(電気関係専門知識必要) (4)解体後の後仕舞。	①②③④⑤⑥
A3	搬出・仮置作業	(1)工事解体物を搬出し、指定場所へ搬送又は産業廃棄物処理。	①②⑤
A4	片付作業	(1)足場の解体、揚重設備の撤去、干渉機器の復旧。 (2)作業／仮置エリアの撤去、電源・照明等の仮設資機材の搬出。	①

※技術的ニーズ

①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。

(クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、潜水土、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿作業主任者等)。

②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・端末作業、解体物搬送、区域設営等の技術。

③火気使用の知識、技術及び万全な火災防止措置等、一般的な建設業の技術を有していること。

④維持管理設備の損傷等を防止するための、養生等の措置知識、技術。

⑤工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。

⑥粉じん等が発生する作業の場合、局所排風機の設置等の拡散防止対策の知識、技術。

⑦コンクリート角設置撤去における潜水作業の知識、技術。

薬液注入ポンプ他解体工事の概要

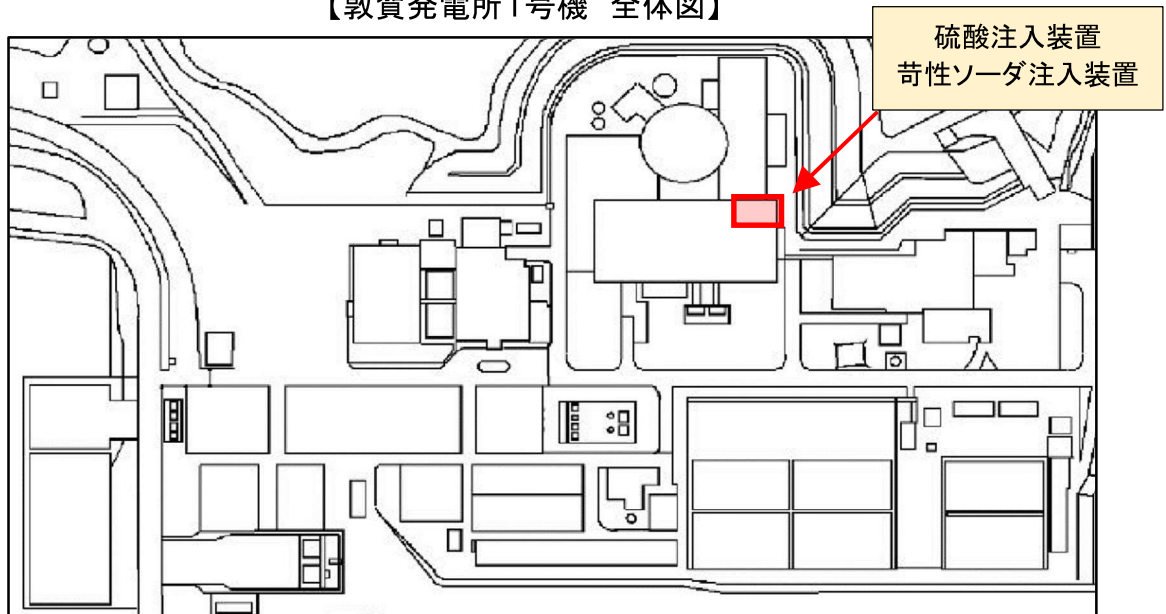
(目的及び概要)

タービン建屋1階に設置してある、硫酸注入装置及び苛性ソーダ注入装置の解体・撤去作業を行います。

○工事範囲

タービン建屋1階(放射線管理区域)

【敦賀発電所1号機 全体図】



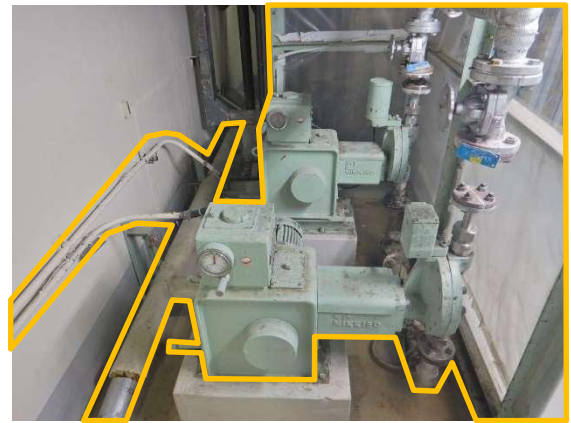
○解体範囲

【主な解体対象設備】

- ①硫酸注入装置 ②苛性ソーダ注入装置



硫酸注入装置



苛性ソーダ注入装置

(工事予定期間)

令和4年12月～令和5年3月

(期待する作業項目と技術ニーズ)

	項目	作業内容	技術的ニーズ※
B1	準備作業	(1) 作業資機材の搬入、作業／仮置エリアの設営、区域養生、電源・照明等の仮設機材設置。 (2) 足場の設置、揚重設備の設置、維持設備の養生保護。 (3) 硫酸ポンプ・苛性ソーダ配管の保温材の石綿含有事前調査 (4) 官公庁への届け出書類作成助勢。	①②③④⑤⑥ ⑦
B2	解体・撤去作業	(1) 解体撤去範囲の識別作業。 (2) 保温材除去 a.アスベスト含有保温材は飛散防止対策を施し回収及び処理 (3) 硫酸・苛性ソーダ抜取作業 (4) 配管切断及び維持設備側配管の閉止措置 > 内側ライニング有:ねじ込みキャップ > 内側ライニング無:溶接閉止⇒浸透探傷検査 (5) 解体対象機器の解体・撤去 a.残存している薬品等は回収・処理 b.残油は回収・処理、火災防護を考慮し解体。 c.電線管・ケーブルは検電確認後、切断 (電気関係専門知識必要) d.基礎コンクリート部に固定されている金属架台まで撤去 e.汚染区分により放射性固体廃棄物・CL・NR ^{注)} に分別しクロスコンタミ ^{注)} しないよう管理 (6) 解体後の後仕舞 a.電線管・ケーブルの端末処理 b.基礎コンクリート部の養生 c.貫通配管・電線管・貫通孔の閉止措置 d.貫通配管撤去後の外壁塗装 e.工事解体物等の鉄箱等充填 (重量計測用機器が必要)	①②③④⑤⑥ ⑦
B3	搬出・仮置作業	(1) 工事解体物を搬出し、指定場所へ搬送又は産業廃棄物処理(苛性ソーダは産廃処理)	①②④⑤⑦
B4	片付作業	(1) 足場の解体、揚重設備の撤去、干渉機器の復旧。 (2) エリア除染、作業／仮置エリアの撤去、電源・照明等の仮設資機材の搬出	①

注)CL: Clearance Level Waste の略称でクリアランスと称す。国のクリアランス制度によって一般の廃棄物と同じように処分や再利用できるように定められた放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物のこと。

NR: Non Radioactive Waste の略称でエヌアールと称す。放射性廃棄物でない廃棄物。本工事では機器に内包する潤滑油類が該当します。

クロスコンタミ: Cross Contamination の略称で放射性物質の混入や接触等により新たな汚染が生じること。

※技術的ニーズ

①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。

(クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿取扱作業主任技術者等)。

②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・端末作業、解体物搬送、区域設営等の技術。

③火気使用の知識、技術及び万全な火災防止措置等、一般的な建設業の技術を有していること。

④維持管理設備の損傷等を防止するための、養生等の措置知識、技術。

⑤工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。

⑥粉じん等が発生する作業の場合、局所排風機の設置等の拡散防止対策の知識、技術。

⑦放射線環境下における防護措置及び知識。

申込締切 令和4年7月4日(月)

敦賀発電所1号機の廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会 参加申込書(令和4年度下期開始予定分)

廃止措置工事の元請会社(廃止措置工事を日本原子力発電様から請負う会社)との情報交換会に、下記のとおり参加を申し込みます。

本申込書に記載された個人情報及び企業情報は、情報交換会開催に係る目的の範囲内で利用(元請会社への情報開示を含む)

されることを理解したうえで同意いたします。

1. 参加確認			
どちらか1つ	チェック	参加希望	以後、記入が必要な項目
○を記載して	<input type="checkbox"/>	全体説明会のみ参加を希望	2, 3
ください	<input type="checkbox"/>	全体説明会と個別面談会の両方に参加を希望	2, 3, 4, 5, 6

2. 参加企業情報 (全体説明会・個別面談会 共通)			
企業名 (必須)	ふりがな		
所在地 (必須)	ふりがな		
		〒	
連絡窓口 (必須)	ふりがな		所属
	本店・支店名		役職
	ふりがな		TEL
	氏名		FAX (任意)
			E-MAIL
ホームページ			
業種			

3. 参加者情報 (全体説明会・個別面談会 共通)			
参加者①	ふりがな		所属
	本店・支店名		役職
	ふりがな		TEL
	氏名		FAX
			E-MAIL
参加者②	ふりがな		所属
	本店・支店名		役職
	ふりがな		TEL
	氏名		FAX
			E-MAIL

※1 1社あたりの参加者は2名までとします。

※2 本申込書は、電子ファイル(Excelファイル)のまま、事務局に提出してください。本申込書の電子ファイル(Excelファイル)は、エネ研ホームページ(<http://www.werc.or.jp/>)の「News & Event (お知らせ・イベント)」からダウンロードしてください。

※3 全体説明会のみ参加を希望する場合は、「2. 参加企業情報」、「3. 参加者情報」まで記載して提出してください。

※4 元請会社との個別面談を申し込む場合は、「4. 参加企業情報」、「5. 個別面談会を希望する対象工事」、「6. 『元請会社が求める技術的ニーズ』に対応する自社が持つ技術の概要」も合わせて記入し、添付ファイルを添えて提出してください。

(個別面談会参加希望の企業のみ記載してください)

4. 参加企業情報 (個別面談会希望企業)			
企業名		従業員数	
		資本金	
添付ファイルの有無 ※2		企業案内の添付 (会社案内パンフレットや自社ホームページのコピー等を電子ファイルにて添付し、○印を付けてください)	
会社概要	(業務概要)		
	(主な取扱製品 (事業))		
	(事業所拠点数) <主な拠点>		

※1 元請会社による全体説明会に出席していない方は、元請会社との個別面談会に出席できません。本書を提出の際は「2. 参加企業情報」「3. 参加者情報」も記入し、提出してください。

※2 本申込書(Excelファイル)と添付書類(PDFファイル等汎用ソフトで開けるもの)を、電子ファイルで事務局に提出してください。
(添付ファイルのファイル名は、何の添付ファイルか容易に判断できる名称にしてください)

※3 情報交換会当日の全体説明会及び個別面談会の時間については、希望企業数を勘案して後日事務局にて調整のうえ決定します。

5. 個別面談会を希望する対象工事 (個別面談会希望企業) 「取水口エリア解体工事」

	チェック	工事 番号	工事項目	求められる技術的ニーズ
<p>求められるニーズを確認のうえ、「6. 『元請会社』が求める技術的ニーズ』に対応する自社が持つ技術の概要」に記載して○を記載し、次の項目</p>	<p>敦賀発電所1号機 「取水口エリア解体工事」</p>	A1	準備作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、潜水士、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿作業主任者 等)。 ②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・末端作業、解体物搬送、区域設営等の技術。 ③火気使用の知識、技術及び万全な火災防止措置等、一般的な建設業の技術を有していること。 ④維持管理設備の損傷等を防止するための、養生等の措置知識、技術。 ⑤工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。 ⑥粉じん等が発生する作業の場合、局所排風機の設置等の拡散防止対策の知識、技術。 ⑦コンクリート角設置撤去における潜水作業の知識、技術。</p>
		A2	解体・撤去作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、潜水士、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿作業主任者 等)。 ②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・末端作業、解体物搬送、区域設営等の技術。 ③火気使用の知識、技術及び万全な火災防止措置等、一般的な建設業の技術を有していること。 ④維持管理設備の損傷等を防止するための、養生等の措置知識、技術。 ⑤工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。 ⑥粉じん等が発生する作業の場合、局所排風機の設置等の拡散防止対策の知識、技術。</p>
		A3	搬出・仮置作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、潜水士、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿作業主任者 等)。 ②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・末端作業、解体物搬送、区域設営等の技術。 ③工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。</p>
		A4	片付作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、潜水士、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿作業主任者 等)。</p>
		共通		<p>必要な作業人員を確保できること。 不測の事態発生にも早急な対応が可能であること。 作業に必要な建設業許可、法令知識があること。 原子力施設における個人の信頼性確認の審査により認定を受けること。 異物管理の運用方法を明確にし、異物混入によるトラブル防止を図ること。</p>

(個別面談会参加希望の企業のみ記載してください)

5. 個別面談会を希望する対象工事 (個別面談会希望企業) 「薬液注入ポンプ他解体工事」

		チェック	工事 番号	工事項目	求められる技術的ニーズ
<p>求められるニーズを確認のうえ、個別面談を希望する対象工事について、該当するチェック欄に○を記載し、次の項目</p>	<p>敦賀発電所1号機 「薬液注入ポンプ他解体工事」</p>		B1	準備作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿取扱作業主任技術者 等)。 ②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・末端作業、解体物搬送、区域設営等の技術。 ③火気使用の知識、技術及び万全な火災防止措置等、一般的な建設業の技術を有していること。 ④維持管理設備の損傷等を防止するための、養生等の措置知識、技術。 ⑤工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。 ⑥粉じん等が発生する作業の場合、局所排風機の設置等の拡散防止対策の知識、技術。 ⑦放射線環境下における防護措置及び知識。</p>
			B2	解体・撤去作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿取扱作業主任技術者 等)。 ②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・末端作業、解体物搬送、区域設営等の技術。 ③火気使用の知識、技術及び万全な火災防止措置等、一般的な建設業の技術を有していること。 ④維持管理設備の損傷等を防止するための、養生等の措置知識、技術。 ⑤工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。 ⑥粉じん等が発生する作業の場合、局所排風機の設置等の拡散防止対策の知識、技術。 ⑦放射線環境下における防護措置及び知識。</p>
			B3	搬出・仮置作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿取扱作業主任技術者 等)。 ②機器解体、切断(熱的、機械的)、分別作業、ケーブル切断・末端作業、解体物搬送、区域設営等の技術。 ④維持管理設備の損傷等を防止するための、養生等の措置知識、技術。 ⑤工事に必要な機器や設備等の据付・片づけを行う場合、有効な転倒防止対策。 ⑦放射線環境下における防護措置及び知識。</p>
			B4	片付作業	<p>①工事に必要な技術系資格者の保有、解体工事業の保有。 (クレーン運転士、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、足場の組立て等作業主任者、溶接士、電気工事士、有機溶剤・特定化学物質作業主任者、アスベスト関連、高圧ガス関連、石綿取扱作業主任技術者 等)。</p>
		共通			<p>必要な作業人員を確保できること。 不測の事態発生にも早急な対応が可能であること。 作業に必要な建設業許可、法令知識があること。 原子力施設における個人の信頼性確認の審査により認定を受けること。 異物管理の運用方法を明確にし、異物混入によるトラブル防止を図ること。</p>

(個別面談会参加希望の企業のみ記載してください)

6. 「元請会社が求める技術的ニーズ」に対応する自社が持つ技術の概要(個別面談会希望企業)

前記の「5. 個別面談会を希望する対象工事」でチェック欄に○をした工事について、元請会社が求める技術ニーズ等に対応する自社の実績、アピールポイント等を以下に記載してください。(複数の工事に○をした場合は、それら全ての工事に対して、自社の実績、アピールポイント等を記載してください。)

(提供できる技術(作業・製品)の内容)

(上記または類似する技術の適用実績)

(所有する関連技術・資格類)

(当該業務の従事者数(うち原子力管理区域内作業経験者数))

(その他 アピールポイント等)

詳細な内容については資料を添付してください。

添付ファイル(元請会社が求める技術ニーズ等に対応する説明資料)の有無 ※2

上記の記載内容を補足する説明資料の添付

(説明資料、パンフレット等を電子ファイルにて添付し、○印を付けてください)

※1 記載内容について、事務局から事前に確認させていただく場合がありますので、その場合はご協力をお願いします。

※2 本書(Excelファイル)と添付書類(PDFファイル等汎用ソフトで開けるもの)を、電子ファイルで事務局に提出してください。(添付ファイルのファイル名は、何の添付ファイルか容易に判断できる名称にしてください)